

議長を除く12名の委員で、令和6年度補正予算、令和7年度予算を審査しました。

令和6年度 一般会計補正予算

〔歳入〕

《町税》

問 個人町民税の増額は。
答 均等割で新規課税者増、所得割は修正申告と、未申告勧奨分等で増。
また、退職所得分の増で、増額補正となる。

《地方交付税》

問 1億2000万程の増額の要因は。
答 国の補正予算における普通交付税の追加交付。

《使用料及び手数料》

問 総務使用料の増額内容は。
答 東信建設工業㈱、東北電力ネットワーク㈱で許可をとっている非農用地と、㈱DMC aizuより、猪苗代スキー場の臨時駐車場として役場北、南側駐車場の賃貸料。



旧吾妻中学校

《財産収入》

問 旧東中学校、旧吾妻中学校の土地賃貸借と建物賃貸借に至った経緯は。
答 12月に文科省から財産処分の承認を受けたことに伴い、行政財産から普通財産へ所管替えし、1月1日付で㈱DMC aizu、天鏡㈱と賃貸借契約した。

問 2社からの貸付収入の内訳は。
答 着手前で25%、工事期間中が50%、事業開始後は100%で進めてきた。

《寄附金》

問 猪苗代町三区林野組合からの寄附金の内容は。
答 要望により、猪苗代中学校へ製水機とウォータークーラーを設置。

《町債》

問 衛生債の減額の理由は。
答 火葬場長寿命化事業として、炉の送風機等の交換工事を実施し、請差が出た。

〔歳出〕

《総務費》

問 会計年度任用職員人件費の減額の要因は。
答 募集しても集まらなかったため。
今後は12月議会で補正できるような進める。

《衛生費》

問 毎年、浄化槽設置補助金の不用額が多いが要因は。
答 猪苗代町生活排水計画があり、令和7年度までの計画に沿った予算計上であるため。

《農林水産業費》

問 環境譲与税交付金の林業振興は。
答 森林整備の予備調査業務委託を発注し、林道整備を実施している。

《土木費》

問 道路維持費負担金の減額は。
答 十六橋の補修工事等で、当初207万円の負担金の予定が、会津若松市と協議の結果、負担金が18万5000円となった。

《消防費》

問 防災総務費の消耗品費の減額は。
答 課長用防災服の更新を当初予算に計上したが、今回の更新は見送った。

《教育費》

問 小学校・中学校管理費、光熱水費の減額は。
答 昨年度、光熱水費が上がったことで予算化したが、予測ほど値上がりが無かったため減額。

令和7年度 一般会計当初予算

〔歳入〕

《町税》

問 個人町民税の増額の要因は。
答 全体的な所得の底上げを見込む。

《地方交付税》

問 地方交付税の算定は。
答 前年の実績及び7年度の地方財政計画を勘案した。

《国庫支出金》

問 妊婦のための補助金増額は。
答 新たに制度が新設され国の負担が増えた。
問 循環型社会形成推進交付金の大幅増は。
答 ごみ焼却、し尿処理施設整備事業に係る交付金である。

問 民生費国庫負担金の増額は。
答 児童手当の制度改正で支給が増えた。

《県支出金》

問 空き家対策支援事業補助金の増大は。
答 昨年実績が見込を上回ったため。

《財産収入》

問 財産貸付収入は。
答 旧東中、旧吾妻中の土地建物貸付収入である。
令和7年度分
土地 215万円
建物 1547万円

〔歳出〕

《総務費》

問 町ホームページのリニューアル予定は。
答 12月末までに準備、1月公開予定。
問 こおりやま広域圏連携中核都市圏航空写真合同撮影とは。
答 航空写真の活用が固定資産税の適正課税に最適なため。

《農林水産業費》

問 担い手づくり総合支援事業の内容は。
答 農業機械の購入補助で補助率は10分の3。
問 防災減災事業負担金の新規計上は。
答 土地改良区で行う水路等の長寿命化で土田堰の水路、農産物6次化推進事業補助金の内容は。
答 商品ラベル、米粉、商品パッケージ3件の作成補助。

《民生費》

問 子ども食堂運営事業補助金計上の経緯は。
答 各種団体からの助成金が減っているため、運営に必要な額を補助。
問 出産手当の増額検討は。
答 7年度も同額予定。

《衛生費》

問 不妊治療支援事業助成金は国の負担では。
答 町でさらに上乗せして助成する。

《商工費》

問 地域活性化企業人発案事業委託とは。
答 観光協会ホームページのリニューアルを検討中。

《土木費》

問 除雪費の減額は。
答 除雪の委託料は増えているが、備品購入費が大きく減額のため。
問 道路新設改良費の1億3000万円増は。
答 町道堅田三ツ和線舗装補修工事ほか、新規事業による。

《都市下水路費増額の要因》

問 気象変動による豪雨によって浸水が想定されるエリアを判断するため業務委託する。
問 都市下水路費増額の要因は。
答 気象変動による豪雨によって浸水が想定されるエリアを判断するため業務委託する。

《教育費》

問 猪苗代町広域入学支援補助金の内容は。
答 猪苗代高校に広域で入学する生徒の補助金で、2名を予定。

《繰越明許費》

問 商品券交付事業の内容は。
答 使用期間は3月15日から6月30日で、換金等を含め年度をまたぐため、繰り越しする。



猪苗代町民応援商品券



消防ポンプ自動車

特別会計

《介護保険特別会計予算》

問 保険給付費の減少理由は。
答 令和2年をピークに65歳以上の人口が減り、要介護要支援の数も減っている。